岡山県インバウンド人流分析
～通過型観光からの脱却を期待して～

2025 年 2 月

株式会社日本政策投資銀行
岡山事務所

協力 DBJ 日本政策投資銀行グループ DBJデジタルソリューションズ

【要旨】

本調査は、岡山県内市町村及び近郊の主要観光地におけるインバウンドの観光動態や新型コロナウイルス感染症からの回復状況を確認する目的で実施したもの。都道府県単位である政府統計と比較して、地域の細やかな実態把握が可能となっている。

[集計データ１] 岡山県内 27 市町村の訪日外国人数（一部市町村は国別）
集計期間：2024 年 4 月~8 月（コロナ後）
[集計データ２] 主要観光地の訪日外国人数（国別）
集計地点：①岡山後楽園・岡山城エリア、②倉敷美観地区エリア、
③広島平和記念公園エリア、④香川金刀比羅宮エリア
集計期間：2019 年 4 月~8 月（コロナ前）、2024 年 4 月~8 月（コロナ後）
※いずれも GPS 位置情報ビッグデータによる人流データから推計

- 岡山県内 27 市町村の訪日外国人数 [集計データ１] は、岡山市がトップの 206 万人、次いで倉敷市が 71 万人、県北では津山市が最も多く 3 万人となった。新幹線駅や空港が所在する岡山市は、県内または近隣県に向かうインバウンドの玄関口としての利用が多いと推測される。インバウンドは県南に集中しており、県北では岡山市・倉敷市の 1%にも満たない市町村が大多数であり、都市部以外の周辺地域への波及は確認できていない。

- 上記データを国籍別でみると、岡山県全体ではアジアからの来訪者が 73%と、全国平均の 65%と比較してアジア比率が高い。特に台湾・韓国の比率が高く、両国で全体の 5 割を占めている。美観地区を擁する倉敷市でも同様の結果であった。なお、直島へのフェリーが就航する玉野市は、例外的にアジアと欧米豪の割合がほぼ同じであり、欧米人の直島人気が推測された。

- 主要観光地点の比較 [集計データ２] では、「広島平和記念公園エリア」の来訪者数がコロナ後で約 136 万人と、他の観光地と比べ圧倒的に多かった。岡山県内では、「倉敷美観地区エリア」が約 48 万人と、「岡山後楽園・岡山城エリア」の約 28 万人よりも多い結果となった。国籍でみると、アジアの割合が「岡山後楽園・岡山城エリア」(71%)、「倉敷美観地区エリア」(72%)、「香川金刀比羅宮エリア」(86%)となったのに対し、「広島平和記念公園エリア」は 23%（欧米豪 60%）と、欧米豪比率が高いのが特徴であった。

- 主要観光地点のコロナ前後における来訪者数の比較では、「岡山後楽園・岡山城エリア」がコロナ前の 93%まで回復していたのに対し、その他の 3 エリアではコロナ前の 6~7 割に留まり、大きな差が見られた。「岡山後楽園・岡山城エリア」については、2022 年の岡山城リニューアルの効果や、それに伴う現地への宣伝効果などが奏功したと考えられる。

- [集計データ 1・2] をあわせて岡山の観光動向を確認すると、岡山市への来訪者数・約 206 万人に対して、「岡山後楽園・岡山城エリア」の来訪者数は約 28 万人となっており、市への来訪者数の 1 割程度しか誘客できていないことが分かった。「旅の玄関口・経由地」としての性格があるとはいえ、いわゆる通過型観光の特徴が如実に表れたとも言える。一方、倉敷市は来訪者数・約 71 万人に対して、「倉敷美観地区エリア」の来訪者数は約 48 万人となっており、半数以上が同エリアを訪れている。

- 本調査において、改めて広島との格差が大きいことが分かった。岡山の主要観光地 2 か所あわせても平和記念公園の来訪者数の半分程度であり、都市規模の違いを踏まえても彼我の差は大きい。岡山は通過型観光と言われるが、岡山市には調査期間の 5 か月間で 200 万人以上の外国人の人流がある。現在は通過・乗換が多いかもしれないが、交通の結節点という優位性を活かして、岡山が近隣県への「観光のベース地」にもなれるはずだ。通過客や乗換客の何割かでも岡山市内に宿泊し、後楽園・岡山城へも訪れるようになれば、見える景色は変わってくるだろう。その意味で、コロナ後の回復率が高かった岡山城の取り組みには期待が見出せる。

  欧米豪からの来訪者割合が低いことも気になる。消費単価向上の観点からも、一般に宿泊単価が高いとされる欧米豪インバウンドの取り込みは重要だ。平和記念公園のような特別なコンテンツはないとしても、例えば岡山城と長船「刀剣」や備前の「備前焼」などを結び付けたストーリーの発信やツアーの企画等により、欧米人の誘客に結び付けることは可能だろう。

  岡山のような交通動脈の途上にある都市に関して、観光客の行動は、スルー（通過）→ストップ（立寄）→ステイ（宿泊）→スタディ（体験）という 4 つの段階で表現できるのではないだろうか。岡山を例にとると、現在は「スルー」されているかもしれないが、乗換や立ち寄りにより観光のハブとして「ストップ」してもらい、次は岡山の街で宿泊・飲食を伴う「ステイ」につながり、さらには歴史等のストーリーやコンテンツに興味を持って能動的に学び・価値体験していく「スタディ」に至るという考え方だ。

  様々な取り組みにより岡山の魅力を海外にアピールすることで、通過型観光から脱却し、ステイ・スタディするインバウンドが増加することを期待したい。

目次

1. 調査について 5
1.1. 目的 5
1.2. 利用データについて 5
2. 人流の集計条件 6
2.1. 「KLA 訪日外国人版」の特徴 6
2.2. 分析ケースごとの集計仕様 7
3. 人流分析結果 8
3.1. 岡山県 27 市町村の訪日外国人数 8
3.2. 全国・岡山県および 27 市町村の国籍比率 10
3.3. 主要観光地点の比較分析 11
4. 参考資料 15
4.1. 主要観光地点のエリア定義 15

※表紙の画像について： Google AI の言語モデル「Gemini」の画像生成モデル「Imagen 3」にイメージを与えて自動生成したものである。

1. 調査について

1.1.目的

本レポートでは、GPS 位置情報ビッグデータを活用し、岡山県における訪日外国人来訪者を市町村で集計し、人流・国籍の分布を可視化した。また、岡山県を代表する観光地である岡山後楽園・岡山城および倉敷美観地区に関しては、人流、国籍、時間帯別の集計とコロナ前後(2019 年、2024 年)の推移を比較した。

政府統計によるインバウンド客数、宿泊者数などは、全国、都道府県単位までに留まり、県内や観光スポットといった粒度での把握が困難であることから、これらの結果が地方観光地の実態把握に資すると考えた。

1.2.利用データについて

本分析では、GPS 位置情報ビッグデータ分析ツールとして「KDDI Location Analyzer（訪日外国人版)」（以下、「KLA 訪日外国人版」）を使用した。本ツールでは、訪日外国人の人流分析が可能である。集計された来訪者数は、一般に採用した分析ツールごとに集計仕様が大きく異なり、値のもつ特徴が異なることも多い。集計仕様については、次章で詳細を示した。

2. 人流の集計条件

2.1.「KLA 訪日外国人版」の特徴

メーカーより公表された情報は、**図表 2.1.1** のとおりである。

注意点として、

- 来訪者数は、集計単位であるエリアや行政界の中で、同日内であっても移動により重複計上される。このため、統計値などとの比較（入込客、観光客数）において、実数、延べ人数よりも大きく計上される傾向にある[1]。
- GPS のサンプルは「ナビタイムジャパンの訪日外国人向け経路探索・多言語観光案内アプリ(Japan Travel by NAVITIME)」のユーザーで同意を得た人を対象に拡大推計をしている。同アプリの利用者数や国籍別アプリのシェアなどに来訪者数が影響している点に注意する。

本レポートでは、この推計された来訪者数を示しつつも、期間での推移や他地点との相対比較を中心に検討した。

図表 2.1.1 分析ツールの集計仕様（メーカー公表）

KDDI Location Analyzer（訪日外国人版）Powered by NAVITIMEの仕様

項目	内容	詳細
種別	GPS	ナビタイムジャパンの訪日外国人向け経路検索・多言語観光案内アプリ「Japan Travel by NAVITIME」のユーザーのうち、同意を得たユーザーのGPSデータを収集し拡大推計
取得頻度	数分毎	最短2分単位で取得
粒度	メッシュ単位	10mメッシュ/125mメッシュ
捕捉時間	滞在	ジオフェンス/エリアが属する1kmメッシュ（国内標準の「第3次地域区画」）に30分以上連続滞在した人を対象に指定したジオフェンス/エリアにかかる10mメッシュ/125mメッシュに少しでも滞在した人を**積算**
属性	国籍	アプリ初回起動時に取得する国籍アンケート情報を反映、全国籍のデータを取得（ただし、国籍判定は訪日外国人観光客上位20の国と地域※のみ）※韓国・中国・台湾・香港・タイ・フィリピン・マレーシア・シンガポール・インドネシア・ベトナム・インド・アメリカ・オーストラリア・カナダ・イギリス・フランス・ドイツ・イタリア・スペイン・ロシアおよびその他
	訪日回数	アプリ初回起動時に取得する訪日経験のアンケート情報を反映
時間帯	全日／朝／昼／夜／深夜	朝（6時～10時）／昼（10時～18時）／夜（18時～23時）／深夜（23時～6時）
対象期間		2019年4月～12月、2022年11月以降 この範囲から任意の1年以下の集計期間を設定

※表中の「ジオフェンス」について： 人流を計測する際の対象領域のことを示し、地図上で建物の形状や地物の大きさに合わせた多角形を定義したもの

[1] KLA 訪日外国人版の来訪者数は、推計した「延べ来訪回数」の意味合いが強い。

2.2.分析ケースごとの集計仕様

(1) 集計対象としたエリア

本分析では、行政単位ごとの集計結果を用いて、岡山県内 27 市町村の人流比率・国籍比率の整理を行った。また、県内の主要観光地である岡山後楽園・岡山城および倉敷美観地区については、広島平和記念公園、香川金比羅宮も合わせて集計し、そこでの人流分析結果と比較した。

分析ケースと集計対象としたエリアの概要を下表に示した。

分析ケース	集計対象としたエリア
① **岡山県内 27 市町村人流・国籍比率**	＜岡山県内の対象市町村：行政区画で集計＞ • 岡山市、倉敷市、津山市、玉野市、笠岡市、井原市、総社市、高梁市、新見市、備前市、瀬戸内市、赤磐市、真庭市、美作市、浅口市、和気町、早島町、里庄町、矢掛町、新庄村、鏡野町、勝央町、奈義町、西粟倉村、久米南町、美咲町、吉備中央町
② **主要観光地点の比較分析**	＜岡山県の主要観光地として任意の区画を設定＞ • ①岡山後楽園・岡山城エリア、②倉敷美観地区エリア ＜比較用の主要観光地として任意の区画を設定＞ • ③広島平和記念公園エリア、④香川金刀比羅宮エリア ※上記の観光地点をエリア定義する際は、訪日外国人が滞在しやすいエリアを事前集計し(KLA のメッシュ滞在人口)、その結果を踏まえて、任意の多角形を定義した。なお、多角形のエリア定義では、1 観光地点で最大 3 ㎢の制約がある。 ※各観光地点のエリア定義については、巻末資料に収録した。

(2) 集計期間

分析ケースにより、２つの集計期間を用意した。

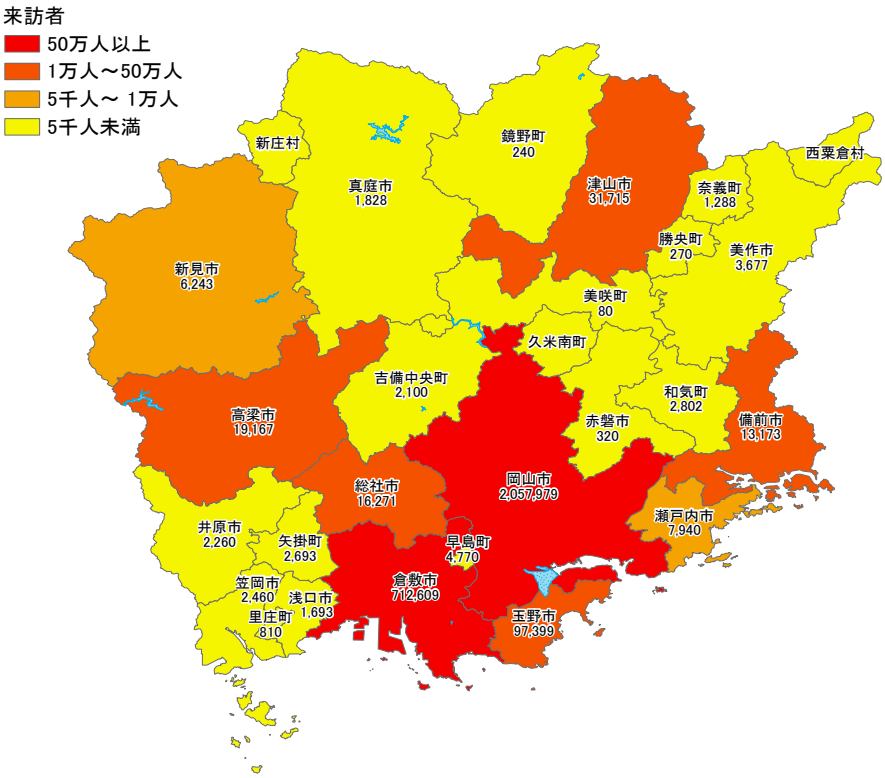
分析ケース	集計期間
① **岡山県内 27 市町村人流・国籍比率**	直近の 1 期間で評価 • 2024 年 4 月～8 月
② **主要観光地点の比較分析**	コロナ前後推移比較を目的に至近における期間と同 2019 年の 2 期間で評価 • 2019 年 4 月～8 月： コロナ前 • 2024 年 4 月～8 月： コロナ後 ※KLA 訪日外国人版では、データ提供期間として 2019 年 4 月以降となっている。

3. 人流分析結果

3.1.岡山県 27 市町村の訪日外国人数

(1) 岡山県内の市町村来訪者数マップ

- 岡山県内の市町村で訪日外国人数のヒートマップを示した。
- 最も多い岡山市は、岡山市内観光のほか、新幹線駅・空港が所在していることから、岡山県内または近隣県に向かうインバウンドの玄関口としての利用も考えられる。
- 玉野市は、玉野市への観光以外にも直島への移動のためのフェリー利用による滞在者が一定数いることが推測される。



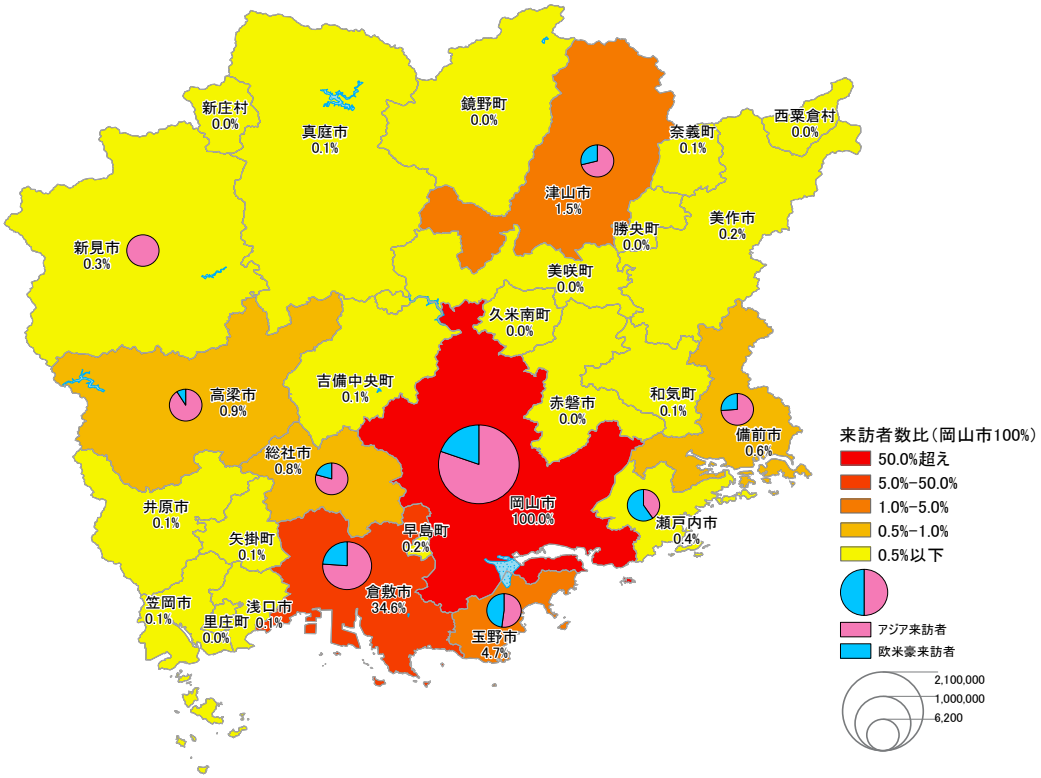
市町村名	来訪者数（人）	岡山市を基準（%）
岡山市	2,057,979	100.0
倉敷市	712,609	34.6
津山市	31,715	1.5
玉野市	97,399	4.7
笠岡市	2,460	0.1
井原市	2,260	0.1
総社市	16,271	0.8
高梁市	19,167	0.9
新見市	6,243	0.3
備前市	13,173	0.6
瀬戸内市	7,940	0.4
赤磐市	320	0.0
真庭市	1,828	0.1
美作市	3,677	0.2
浅口市	1,693	0.1
和気町	2,802	0.1
早島町	4,770	0.2
里庄町	810	0.0
矢掛町	2,693	0.1
新庄村	0	0.0
鏡野町	240	0.0
勝央町	270	0.0
奈義町	1,288	0.1
西粟倉村	0	0.0
久米南町	0	0.0
美咲町	80	0.0
吉備中央町	2,100	0.1

(C)Esri Japan

※推定した来訪者数は、集計エリア内での移動により重複計上される場合がある。
（出典）技研商事インターナショナル「KDDI Location Analyzer（訪日外国人版）Powered by NAVITIME」より作成

(2) 岡山市来訪者数を 100 とした岡山県マップ（アジア・欧米豪の比率[2]）

- ヒートマップへアジア・欧米豪の比率を示した。
- 人流の多くを占める岡山市、倉敷市でみるとアジアで 7～8 割程度となり、欧米豪を大きく上回っている。直行便の有無が大きく影響していると考えられる。
- その中で玉野市のアジア・欧米豪割合がおおよそ半分なのは、直島の欧米人気によるところが大きいと推測される。



(C)Esri Japan

※推定した来訪者数は、集計エリア内での移動により重複計上される場合がある。
（出典）技研商事インターナショナル「KDDI Location Analyzer（訪日外国人版）Powered by NAVITIME」より作成

[2] ここでは、アジアの定義を韓国、中国、台湾、香港、タイ、シンガポール、マレーシア、インドネシアとし、欧米豪の定義をアメリカ、オーストラリア、イギリス、フランスとした。また、図中の円グラフは、当該市町村の来訪者数が 5,000 人以上の場合に表示している（サンプルが少ない場合、十分な国籍比率が得られないため）。

3.2.全国・岡山県および 27 市町村の国籍比率

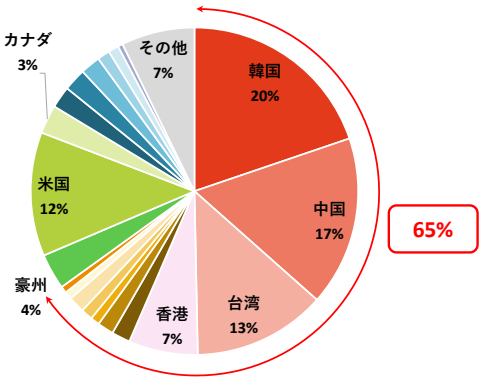
(1) 全国・岡山県の国籍比率

- 全国の国籍比率では、上位から韓国 20%、中国 17%、台湾 13%、米国 12%と並ぶ。アジアの主要国で全体の過半数を、また、米国、豪州、カナダで約 2 割を占めている。
- 岡山県の国籍比率では、上位から台湾 28%、韓国 22%、中国 12%と並び、全国と比べてアジアの割合が高い（韓国、中国、台湾、香港で約 7 割弱）。特に、台湾では、岡山県で 28%、全国で 13%とその差が顕著である。
- 一方、岡山における欧米豪の割合は低く、特に米国の割合は岡山県で 5%、全国で 12%となっている。

【全国】

（人）

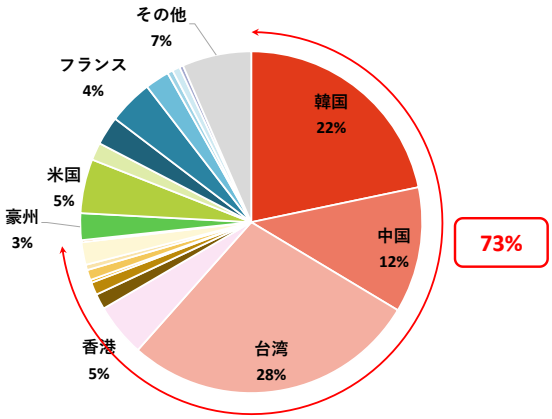
韓国	中国	台湾	香港	タイ	シンガポール	マレーシア	インドネシア	フィリピン	ベトナム	インド
104,565,009	88,638,129	69,394,633	36,114,740	9,704,926	8,501,491	4,692,975	6,168,570	8,571,185	4,040,776	3,471,859
豪州	**米国**	**カナダ**	**英国**	**フランス**	**ドイツ**	**イタリア**	**スペイン**	**ロシア**	**その他**	**総計**
18,646,559	64,758,499	14,975,957	11,382,192	11,754,826	10,430,269	6,575,150	5,421,777	2,551,372	38,236,359	528,597,253



【岡山県】

（人）

韓国	中国	台湾	香港	タイ	シンガポール	マレーシア	インドネシア	フィリピン	ベトナム	インド
649,120	355,535	834,951	150,391	43,720	35,830	8,130	29,030	15,160	63,715	5,930
豪州	**米国**	**カナダ**	**英国**	**フランス**	**ドイツ**	**イタリア**	**スペイン**	**ロシア**	**その他**	**総計**
75,674	153,106	49,680	81,213	126,122	68,790	15,490	21,430	10,650	195,389	2,989,056



※円グラフでの囲んだ割合は、アジアとし、韓国、中国、台湾、香港、タイ、シンガポール、マレーシア、インドネシア、フィリピン、ベトナム、インドまでとする。

■韓国 ■中国 ■台湾 ■香港 ■タイ ■シンガポール ■マレーシア
■インドネシア ■フィリピン ■ベトナム ■インド ■豪州 ■米国 ■カナダ
■英国 ■フランス ■ドイツ ■イタリア ■スペイン ■ロシア ■その他

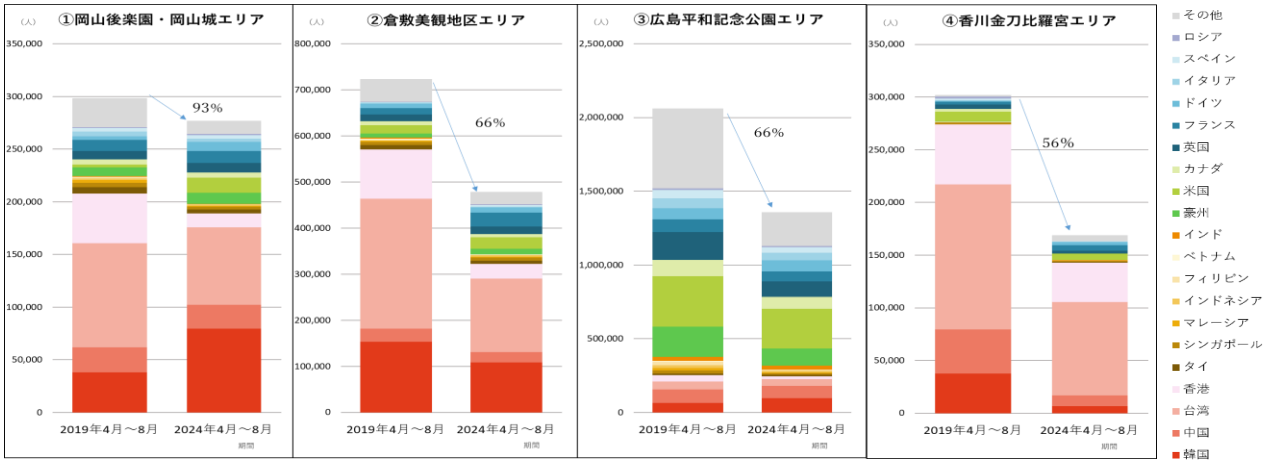
※推定した来訪者数は、集計エリア内での移動により重複計上される場合がある。
（出典）技研商事インターナショナル「KDDI Location Analyzer（訪日外国人版）Powered by NAVITIME」より作成

3.3.主要観光地点の比較分析

主要観光地点での来訪者をコロナ前後で集計した。
・2019 年 4 月～8 月：コロナ前　・2024 年 4 月～8 月：コロナ後

(1) 主要観光地点のコロナ前後推移【来訪者数・国籍】

- 「岡山後楽園・岡山城エリア」では、コロナ前後で僅かな差となっている。2022 年 11 月の岡山城天守閣リニューアル効果が 1 つの要因であると推測される。また、コロナ後では、韓国の増加(約 2 倍)、香港の減少が顕著である。
- 日本政府観光局発表の「訪日外客数」によると 2024 年は過去最多となっており、ゴールデンルートといわれる観光地は来訪者数が回復、もしくは増加しているのに比べて、地方観光地は回復には至っておらず、中四国地方では圧倒的な集客力を持つ「広島平和記念公園エリア」においても 66%と同様のことが言える。



集計エリア別のコロナ前後×国籍別　（訪日外国人）

（人）

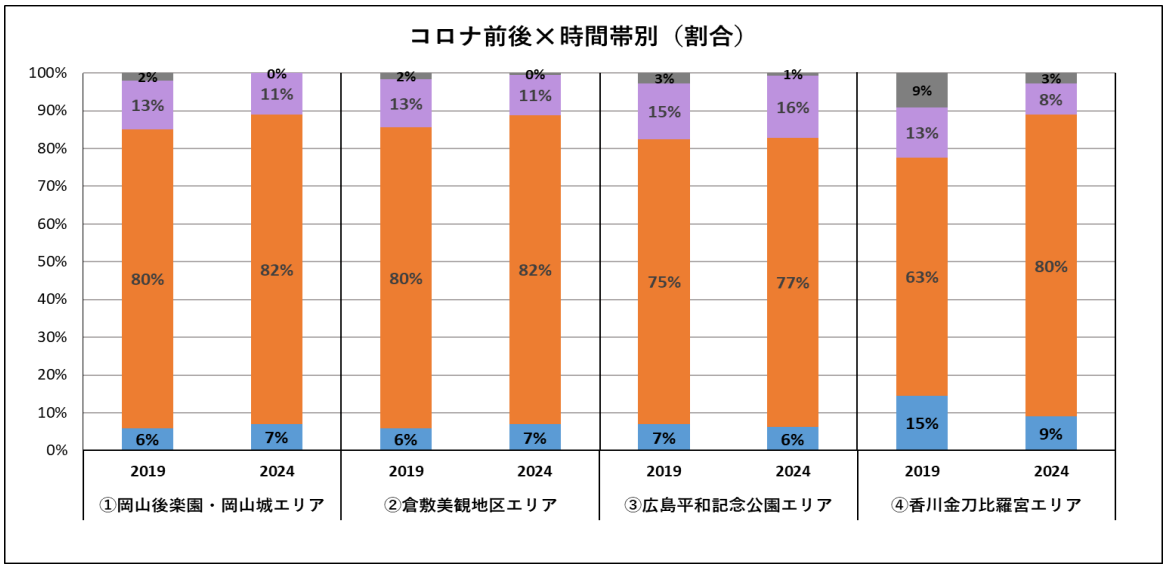
集計エリア名	期間	韓国	中国	台湾	香港	タイ	シンガポール	マレーシア	インドネシア	フィリピン	ベトナム	インド
①岡山後楽園・岡山城エリア	2019年4月～8月	37,934	23,961	98,802	46,998	6,320	4,010	2,540	1,690	900	470	900
	2024年4月～8月	79,749	22,352	73,747	13,020	3,950	2,530	910	1,170	280	0	330
②倉敷美観地区エリア	2019年4月～8月	153,693	28,123	282,391	106,709	9,080	6,910	3,010	720	1,200	1,920	2,550
	2024年4月～8月	108,075	22,758	159,221	32,250	7,380	6,550	1,760	3,130	1,440	128	780
③広島平和記念公園エリア	2019年4月～8月	64,970	89,547	54,187	43,198	10,600	22,370	15,520	20,330	23,180	5,000	28,510
	2024年4月～8月	95,781	84,281	44,431	20,060	11,920	10,120	5,530	9,760	9,180	0	25,280
④香川金刀比羅宮エリア	2019年4月～8月	37,456	42,128	137,563	56,738	0	2,040	0	0	760	40	0
	2024年4月～8月	6,838	10,192	88,497	37,223	740	1,160	0	360	0	0	360

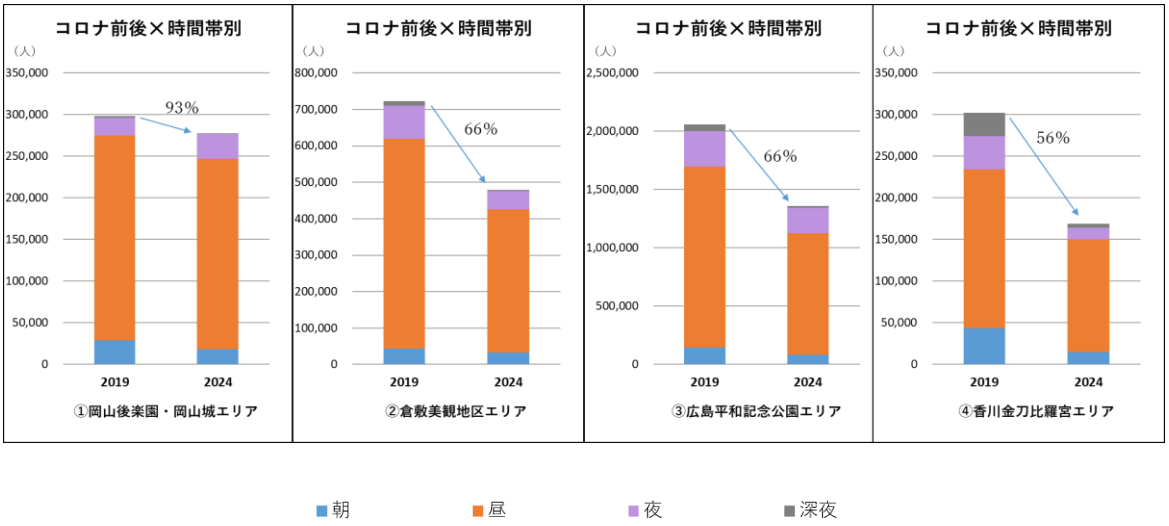
集計エリア名	期間	豪州	米国	カナダ	英国	フランス	ドイツ	イタリア	スペイン	ロシア	その他	総計
①岡山後楽園・岡山城エリア	2019年4月～8月	8,240	2,560	4,840	8,160	10,460	3,440	4,340	3,510	900	27,280	**298,255**
	2024年4月～8月	10,525	14,415	5,071	8,969	11,400	8,430	3,180	3,170	1,330	12,570	**277,098**
②倉敷美観地区エリア	2019年4月～8月	8,560	18,780	8,660	14,770	13,590	9,360	2,500	740	900	49,430	**723,596**
	2024年4月～8月	11,672	24,911	6,776	16,964	29,800	10,920	2,410	2,880	1,800	27,180	**478,785**
③広島平和記念公園エリア	2019年4月～8月	205,429	342,070	109,768	188,215	86,130	74,540	69,380	56,970	9,980	541,136	**2,061,030**
	2024年4月～8月	116,166	271,220	80,805	104,338	66,791	75,982	51,890	37,630	6,832	228,750	**1,356,747**
④香川金刀比羅宮エリア	2019年4月～8月	320	9,190	2,550	4,120	2,580	780	920	1,360	1,920	1,520	**301,985**
	2024年4月～8月	0	6,125	0	2,660	5,240	3,120	350	270	0	5,680	**168,815**

※推定した来訪者数は、集計エリア内での移動により重複計上される場合がある。
（出典）技研商事インターナショナル「KDDI Location Analyzer（訪日外国人版）Powered by NAVITIME」より作成

(2) 主要観光地点のコロナ前後推移【時間帯別】

- 時間帯別の来訪者割合をみると「岡山後楽園・岡山城エリア」、「倉敷美観地区エリア」ともコロナ前後で大きな変化がない。また、両エリアは、観光目的による周遊が主で、宿泊としての深夜帯が少ない傾向となっている。
- 「香川金刀比羅宮エリア」では深夜帯の割合がコロナ後減っており、また宿泊施設がエリア内にあることから、宿泊客が減った結果となった。



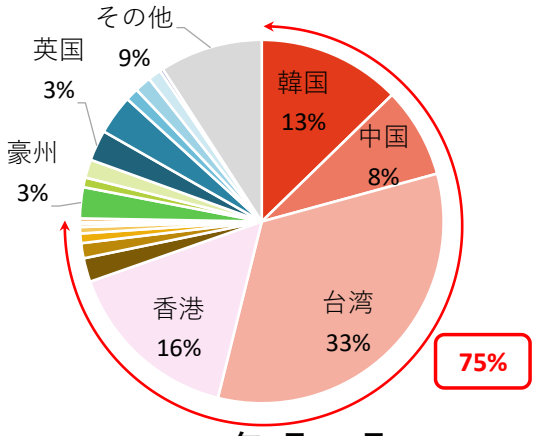


※推定した来訪者数は、集計エリア内での移動により重複計上される場合がある。
（出典）技研商事インターナショナル「KDDI Location Analyzer（訪日外国人版）Powered by NAVITIME」より作成

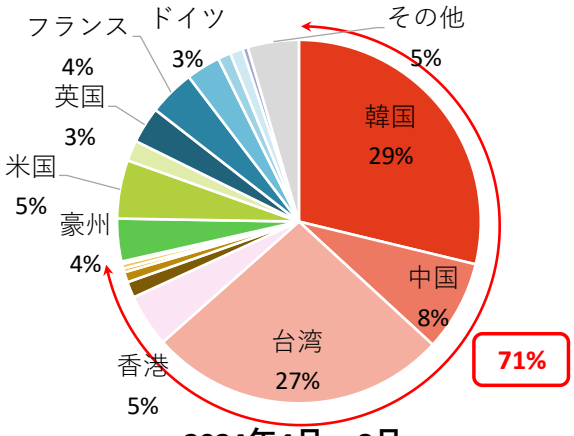
(3) 主要観光地点のコロナ前後国籍割合

【①岡山後楽園・岡山城エリア】

- 韓国割合がコロナ前 13%からコロナ後 29%と倍増した。
- 香港の割合がコロナ前 16%からコロナ後 5%に減ったのは、岡山空港発着の香港便が運休中であることが影響していることが推測される。



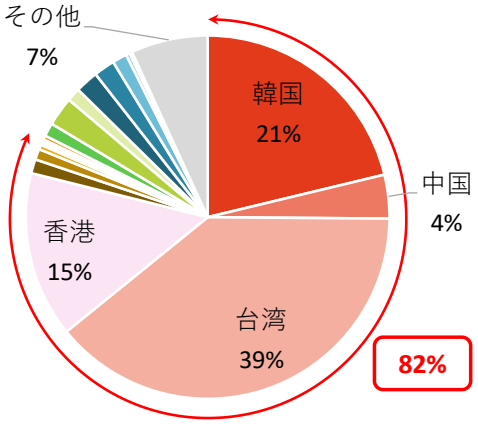
2019年4月～8月
n=298,255



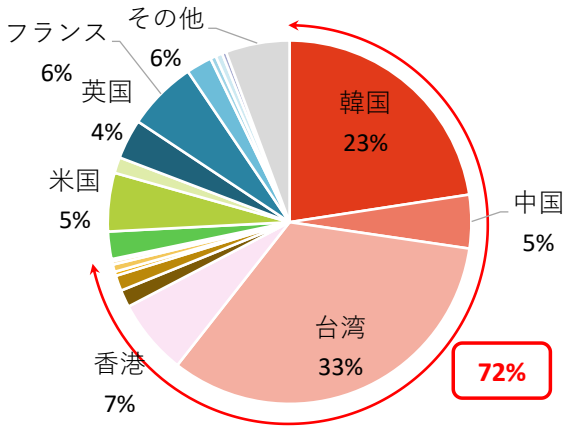
2024年4月～8月
n=277,098

【②倉敷美観地区エリア】

- ①と同様に、韓国の来訪者割合がコロナ前 15%からコロナ後 7%と大幅に減少している。香港の割合が減り、米国・フランスの割合が増えた。
- ①、②ともに欧米からの割合がコロナ後増えた。岡山空港発着のアジア便減便による影響が推測される。



2019年4月～8月
n=723,596



2024年4月～8月
n=478,785

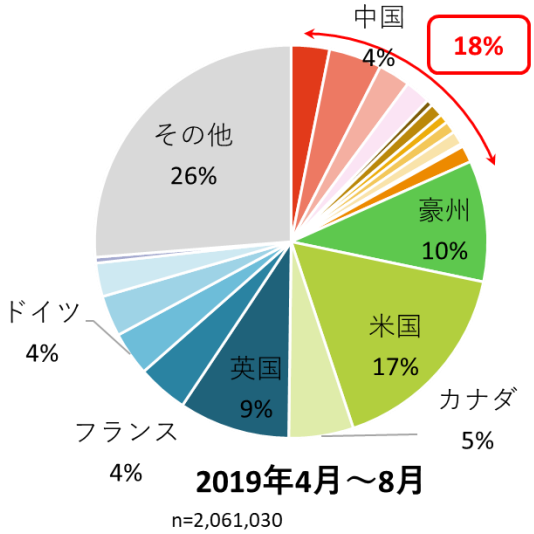
※円グラフでの囲んだ割合は、アジアとし、韓国、中国、台湾、香港、タイ、シンガポール、マレーシア、インドネシア、フィリピン、ベトナム、インドまでとする。

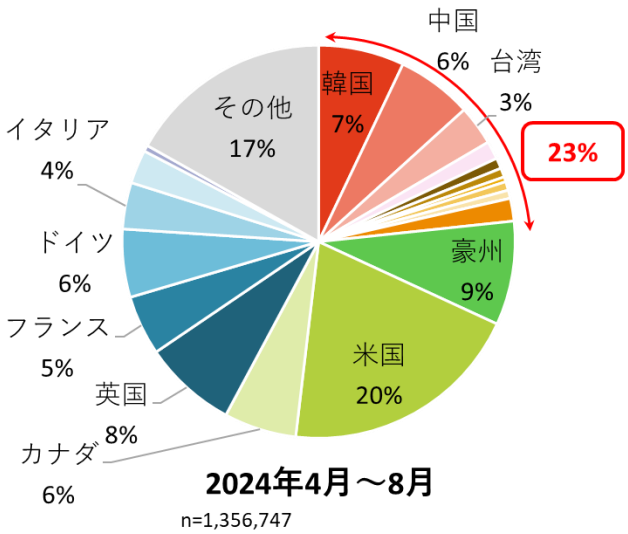
■韓国 ■中国 ■台湾 ■香港 ■タイ ■シンガポール ■マレーシア
■インドネシア ■フィリピン ■ベトナム ■インド ■豪州 ■米国 ■カナダ
■英国 ■フランス ■ドイツ ■イタリア ■スペイン ■ロシア ■その他

※推定した来訪者数は、集計エリア内での移動により重複計上される場合がある。
（出典）技研商事インターナショナル「KDDI Location Analyzer（訪日外国人版）Powered by NAVITIME」より作成

【③広島平和記念公園エリア】

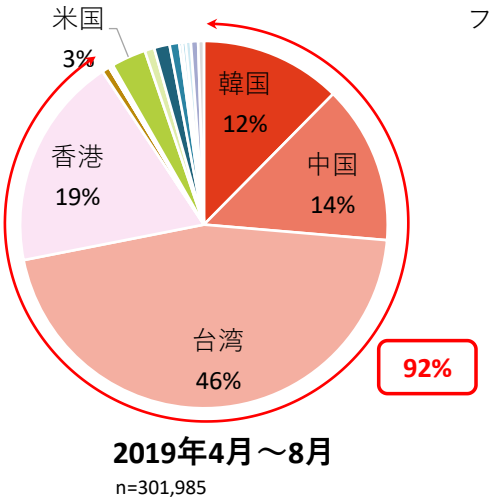
- 他の３観光地と比べて、欧米豪の割合が高いのが特徴である。
- 特に米国からの割合が最も高い。

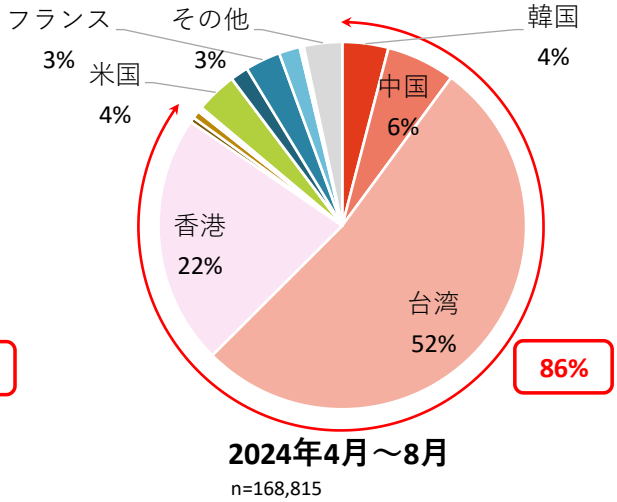




【④香川金刀比羅エリア】

- 他の３観光地に比べアジアの割合が高い、特に台湾が半数を占める。
- 韓国便が増便（2019 年 3 便/週→2024 年 14 便/週）になったが、コロナ前 12%からコロナ後 4%と、その効果はみられなかった。中国からの来訪者割合コロナ前 14%からコロナ後 6%に減少しているのは、国際定期線の回復が遅れていることが要因と考えられる。





※円グラフでの囲んだ割合は、アジアとし、韓国、中国、台湾、香港、タイ、シンガポール、マレーシア、インドネシア、フィリピン、ベトナム、インドまでとする。

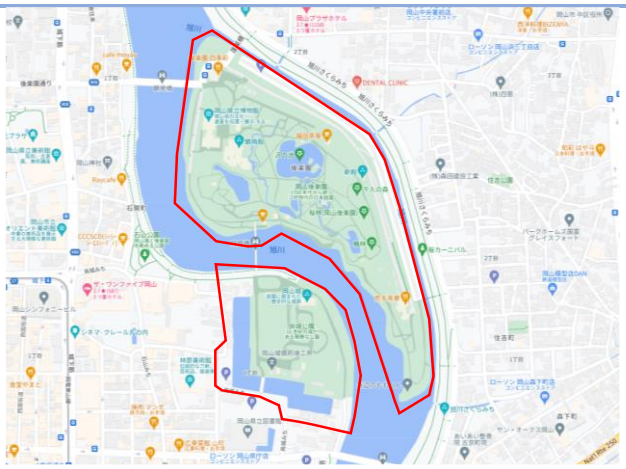
■韓国 ■中国 ■台湾 ■香港 ■タイ ■シンガポール ■マレーシア
■インドネシア ■フィリピン ■ベトナム ■インド ■豪州 ■米国 ■カナダ
■英国 ■フランス ■ドイツ ■イタリア ■スペイン ■ロシア ■その他

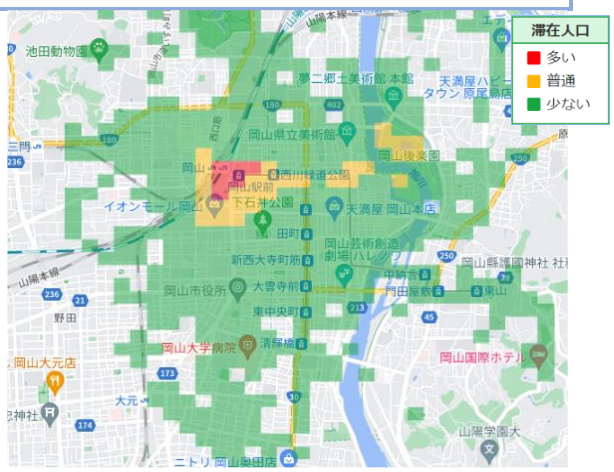
※推定した来訪者数は、集計エリア内での移動により重複計上される場合がある。
（出典）技研商事インターナショナル「KDDI Location Analyzer（訪日外国人版）Powered by NAVITIME」より作成

4. 参考資料

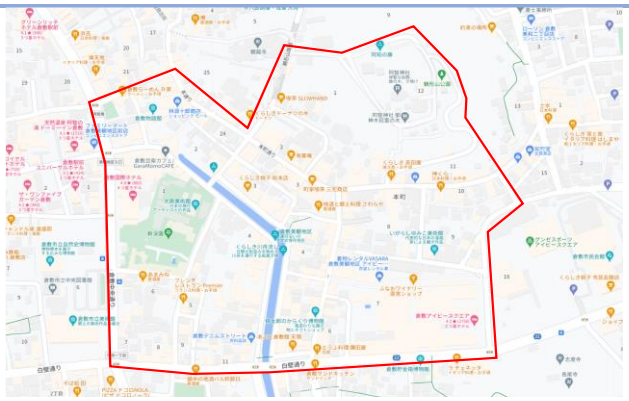
4.1.主要観光地点のエリア定義

① 岡山後楽園・岡山城エリア





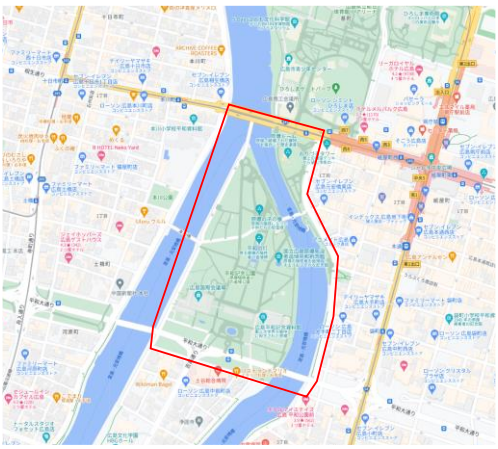
② 倉敷美観地区エリア

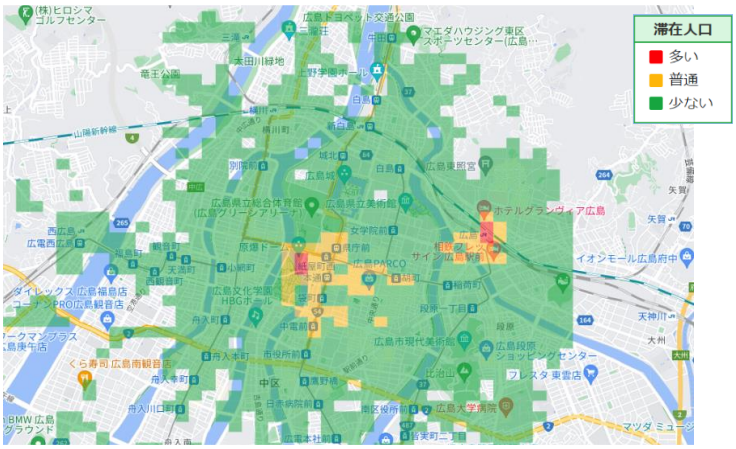


※滞在人口分布（メッシュ図）の凡例について：多い、普通、少ないは、周辺を含めた当該エリアでの相対的な比較による。
集計期間：2023 年 4 月から翌年 3 月まで
（出典）技研商事インターナショナル「KDDI Location Analyzer（訪日外国人版）Powered by NAVITIME」より作成

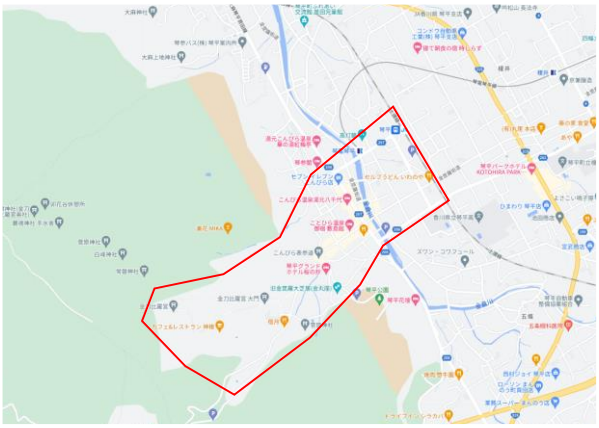
出典： Google マップ 地図データ©2024

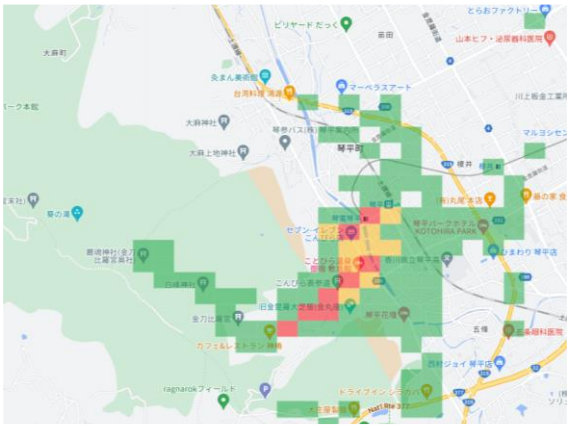
③ 広島平和記念公園エリア





④ 香川金刀比羅宮エリア





※滞在人口分布（メッシュ図）の凡例について：多い、普通、少ないは、周辺を含めた当該エリアでの相対的な比較による。
集計期間：2023 年 4 月から翌年 3 月まで
（出典）技研商事インターナショナル「KDDI Location Analyzer（訪日外国人版）Powered by NAVITIME」より作成
出典： Google マップ 地図データ©2024

＜使用した位置情報データについて＞
「KDDI Location Analyzer（訪日外国人版）」

- ナビタイムジャパンが提供する訪日外国人向け経路検索・多言語観光案内アプリ「Japan Travel by NAVITIME」から利用者の同意を得て取得したインバウンド GPS データと属性アンケートのデータを活用している。

お問い合わせ先

- 株式会社日本政策投資銀行　岡山事務所　　電話番号０８６－２２７－４３１１

著作権（C）Development Bank of Japan Inc. 2025
当資料は、株式会社日本政策投資銀行（DBJ）により作成されたものです。

本資料は情報提供のみを目的として作成されたものであり、取引などを勧誘するものではありません。本資料は当行が信頼に足ると判断した情報に基づいて作成されていますが、当行はその正確性・確実性を保証するものではありません。本資料のご利用に際しましては、ご自身のご判断でなされますようお願いいたします。
本資料は著作物であり、著作権法に基づき保護されています。本資料の全文または一部を転載・複製する際は、著作権者の許諾が必要ですので、当行までご連絡ください。著作権法の定めに従い引用・転載・複製する際には、必ず『出所：日本政策投資銀行』と明記してください。